

教科の年間指導計画

広島市立美鈴が丘中学校

学年		2 学年		教科目標		
教科		数 学		数学的活動を通して、事象に興味関心を持ち、事象を数理的に考察し表現する力を育てる。		
月	週	単元	小単元・項目	時数	学 習 活 動	評価方法
4	3	1	式の計算	11	文字を用いた式について、目的に応じて計算をしたり変形をしたりする能力を養う。	発表・授業態度 授業ノート 小テスト 提出物
			①式の計算		多項式どうしの加法・減法，単項式どうしの乗法・除法について理解し，その計算ができるようにする。	
5	4		②文字式の利用	4	整数についての性質が成り立つわけを文字式を利用して説明したりするなど文字式を適切に活用するようにする。	
			2 連立方程式		連立方程式を解くには，2つの文字を消去し，1元1次方程式を導けばよいことを理解する。	発表・授業態度 授業ノート
6	4		①連立方程式とその解き方	10	式変形の仕方を工夫しながら能率的かつ正確に連立方程式を解くことができるようにする。	小テスト
			②連立方程式の利用	8	連立方程式を利用することのよさに気づき，積極的に連立方程式を利用して問題を解こうとする。	提出物 前期中間試験
7	3		3 1次関数		1次関数の意味を理解するとともに，事象の中には1次関数としてとらえられるものがあることを理解する。	発表・授業態度 授業ノート 小テスト
			①1次関数	15	1次関数のグラフの特徴を変化の割合と関連づけながら理解する。	提出物 前期期末試験
9	4		②1次関数と方程式	7	2元1次方程式をグラフに表すことのよさに気づき，連立方程式の解を2直線の交点の数と関連づけてとらえる。	
			4 平行と合同		証明の意義やしぐみ・手順を理解する。	発表・授業態度
10	4		①平行線と角	10	対頂角の性質や平行線と同位角・錯角の関係を用いて，根拠を示しながら角をもとめることができるようにする。	授業ノート 小テスト
			②合同な図形	10	三角形の合同条件などを根拠にして結論を導く過程を表現することができるようにする。	宿題 後期中間試験
11	3		5 三角形と四角形		証明した図形の性質を，いろいろな場面で利用することができるようにする。	発表・授業態度 授業ノート
			①三角形	9	図形の証明を，直角三角形の合同条件を適切に用いて書き表すことができるようにする。	小テスト 提出物
1	3		②平行四辺形	11	平行四辺形の性質を用いて的確に証明することができる。また，平行四辺形になるための条件を使って図形の性質を的確に証明できる。	
			2	4	平行線と面積の定理を理解する。	後期期末試験
2	4		6 確率	10	目的に応じて方法を決めるなどして場合の数を手際よく数え，確率を求めることができる。	発表・授業態度 授業ノート 小テスト 提出物
			①確率			
3		3				
総授業数		105 時間				